令和2年度（2020年度）第2回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

1 開催日時

令和2年（2020年）10月16日（金）14時から

2 開催場所

東部公民館 2階ホール

3 出席委員（順不同）

澤田委員、吉川委員、湊上委員、宮下委員、餅崎委員、西原委員、井ノ口委員、丸山委員、川崎委員、豊田委員、釧羽委員、瀬上委員、橋本委員、萩野委員
14名参加

4 次第

- (1) 第1回東区まちづくり懇話会について(報告)【資料1】
- (2) 町内自治会の運営に関するアンケート調査について(報告)【資料2】
- (3) 令和2年度東区まちづくり事業及び令和3年度東区まちづくり事業(案)
について【資料3・4】

議事発言要旨

◆会長

次第に沿って議事を進める。

「(1) 第1回東区まちづくり懇話会について(報告)」及び「(2) 町内自治会の運営に関するアンケート調査について(報告)」について、事務局から説明をお願いする。

■事務局

【資料1】及び【資料2】について説明。

◆会長

事務局からの説明について、意見・質問はないか。

●委員

コロナ禍で実際に訪問ができず、訪問しても何をしに訪問に来たのかと言われる。このような状況下でどのように見守りをするか試行錯誤している。

●委員

安心してサロンが開催できるよう、感染防止対策に力を入れている。虐待の相談も増えている。スマホやICTが活用できるようになると地域の方もつながることができるし、講座等も実施できるようになる。

●委員

従来はプリント配布が主だったが、休校中は全家庭へメールを使用して情報伝達をしていた。休校中は伝達事項も多く、頻繁にメールを送付する状況であったが、家庭の方がメールを見なくなってしまうというデメリットがあると感じた。

●委員

当自治会としてもリモートなどで町民とコミュニケーションが取れるようにしていきたいと考えている。LINEやメーリングリストを使って、非常時等の情報発信を正確に迅速に対応できるようにしたい。メーリングリストは町内420世帯のうち1割も活用していないので、過半数くらいまで増やしていきたい。

◆会長

委員の意見や自治会アンケート結果をどのように生かしていくのか。

■事務局

来年度のまちづくり推進事業の中で意見を反映する形で事業展開を行っていきたい。すべて実現できるものではないが、検討を行い、東区のまちづくりに反映していく予定。

◆会長

まちづくりセンターや地域担当職員もアンケート内容をよく読んで、活動に生かしていただきたい。

◆会長

「(3) 令和2年度東区まちづくり事業及び令和3年度東区まちづくり事業(案)」について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

【資料3】及び【資料4】について説明。

◆会長

事務局からの説明について、意見・質問はないか。

●委員

区の政策でも、ソーシャルインパクトボンド等の活用やSDGs（持続可能な開発目標）を取り入れてはどうか。企業も積極的に取り入れている状況であるため、区としても発信して行って欲しい。

●委員

ほとんどの自治会が町内のICT化やホームページ作成など、雲をつかむ話になりそうな気がする。自治会長向けのLINEやホームページ作成講座では、誰でも取り組みやすいようなサポートをお願いしたい。

●委員

ICTを推進するうえで、情報弱者を作らないことが大事だと思う。

●委員

色々な事業があるが住民に周知されていないと感じる。LINE等もあるが、テレビやラジオ等を活用し広報した方が効果的な事業展開ができるのではと思う。これにより東区が安心して住みやすいまちというPRも行っていたきたい。

■事務局

委員からのご意見・ご提案を参考に、検討のうえ、修正して対応する。

◆会長

事務局からの説明について、他に質問・意見はないか。合わせて、事務局から説明はないか。

◆会長

他に質問・意見等がないため、これで議事を終了する。